

## ベネズエラの最新動向(3月9日~3月20日)

### I. 政治・経済

#### 1. カベッサス財務大臣、2007年のGDP成長率を約7%と予測

- 3月19日、カベッサス財務大臣は、ベネズエラの2007年のGDP成長率が約7%となるとの見解を発表した。また、2006年には一時80ドル/bに達したベネズエラの原油価格については、2007年は約50ドル/b平均となるとの見通しを発表<sup>1</sup>。原油価格の低下があっても、ベネズエラの経済は堅調となろう、とコメントした。
- 2006年は17%となったインフレ率について、同大臣は、本年末までに14%程度に抑制できるだろうとの見解を示し、政府はベネズエラの通貨、ボリバルのいかなる切り下げも予定していないと発表した。

### II. 外交

#### 1. チャベス大統領がアルゼンチン等を訪問、ブッシュ大統領のラ米歴訪を批判

- 3月9日、チャベス大統領がアルゼンチンを訪問し、約3万人が参加した反米集会で演説、ブッシュ大統領のラ米歴訪を批判した。
- ブッシュ大統領は、3月8日より、ブラジル、コロンビア、グアテマラ、メキシコ、ウルグアイのラ米計5カ国を歴訪。ブラジルでは同国のルーラ大統領と、エタノールの普及に向けた合意を締結した。ブッシュ大統領は、米国の石油依存体質の軽減の為、バイオ燃料等代替燃料の普及を目指している。
- ブッシュ大統領の今回のラ米歴訪は、左派勢力が台頭するラ米において、最も反米色の強いチャベス大統領の影響力低下を狙ったものともいわれている。
- チャベス大統領は、ブッシュ大統領のラ米歴訪と同じ時期に、アルゼンチンの他、ボリビア、ニカラガア、ジャマイカ、ハイチを訪問。エネルギー分野の協力等につき、各国首脳と協議した。

### III. 石油、その他の資源セクター

#### 1. カベッサス財務大臣、PDVSAによる40億ドルの債券発行を示唆

- 3月19日、カベッサス財務大臣は、PDVSAが約40億ドル相当の債券発行を検討していると発表した。PDVSAは、かねてから35億ドル規模の債券発行を検討してきたが、これを増額するもの。正確な発行額については、50億ドル規模となるとのラミレス PDVSA 総裁の発言もあり、詳細は不明。発行の時期については本年4月上旬頃を予定している由。

<sup>1</sup> 2007年度の政府予算では、29ドル/bを前提としていた。

- カベッサス財務大臣は、PDVSA は同債券発行により、石油生産量を約 550 万 b/d に増大することが可能となる、とコメントした。現在のベネズエラの生産量は約 260 万 b/d と見られている。

以上

本レポートは発表時の最新情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性又は完全性を保証するものではありません。また、レポートの内容は今後予告なしに変更されることがあります。予めご了承下さい。